

管理番号 56

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	ヒト血液を利用して特有の糖鎖パターンを再現し、疾患診断に活用する (ヒト血液を利用した再構成糖鎖プロファイルによる疾患診断)
研究開発期間（西暦）	2024年4月～2026年3月
研究機関名	成蹊大学理工学部
研究責任者職氏名	教授 戸谷 希一郎

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

糖尿病やアルツハイマー病など長期療養を要する疾患は異常な立体構造を形成しているタンパク質（ミスフォールドタンパク質）が蓄積して起こります。タンパク質が正しい構造を保つためには、タンパク質上の糖鎖が関与しており、ミスフォールドタンパク質が蓄積する前に糖鎖の働きに異常をきたしています。長期療養を要する疾患を対象とし、疾患による生体内の糖鎖プロファイル変動を、血液を利用して実験的に再現し診断に活用します。これにより健康診断時の採血で当該疾患の早期診断ができるようになります。

2 使用する献血血液の種類・情報の項目

献血血液の種類：全血（規格外）

献血血液の情報：なし

3 共同研究機関及びその研究責任者氏名

《献血血液を使用する共同研究機関》

なし

《献血血液を使用しない共同研究機関》

KH ネオケム株式会社 山本タ

4 献血血液の利用を開始する予定日

2024年6月1日

5 研究方法《献血血液の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液のヒト遺伝子解析：■行いません。 □行います。

《研究方法》

献血血液から小胞体と呼ばれる糖鎖変換を行う細胞小器官を遠心分画し、別途鶏卵から単離した独自の糖鎖基質を添加して、ヒトの健康状態を反映した糖鎖パターンを実験的に再現し液体中の成分を定性・定量分析する液体クロマトグラフィーで解析します。この糖鎖パターンの疾患によるばらつきをデータ化して（KH ネオケム株式会社と共同で実施）、疾患診断に活用します。

6 献血血液の使用への同意の撤回について

研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。

7 上記 6 を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

受付番号

本研究に関する問い合わせ先

所属	成蹊大学理工学部
担当者	戸谷 希一郎
電話	0422-37-3745
Mail	ktotani@st.seikei.ac.jp